

2024年6月26日

各位

東京都千代田区神田錦町2-1-1
安田不動産株式会社
代表取締役社長 安田 守

2024年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 2024年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）
安田不動産株式会社
経営企画部 尾村・平田
TEL 03-5259-0517

1. 2024年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	39,289	流 動 負 債	20,877
現金及び預金	24,314	1年以内償還社債及び1年以内返済長期借入金	12,385
その他の資産	14,974	その他の負債	8,492
固 定 資 産	328,613	固 定 負 債	189,505
有形固定資産	227,543	社債及び長期借入金	150,482
建物	82,409	その他の負債	39,023
土地	140,569	負 債 合 計	210,383
建設仮勘定	2,114	株 主 資 本	117,267
その他の資産	2,450	資本金	270
無形固定資産	9,585	資本剰余金	10
投資その他の資産	91,484	資本準備金	10
		利益剰余金	116,987
		利益準備金	67
		その他利益剰余金	116,919
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	40,251
		その他有価証券評価差額金	40,251
		純 資 産 合 計	157,519
資 産 合 計	367,902	負 債 ・ 純 資 産 合 計	367,902

損益計算書の要旨

自 2023年4月1日

至 2024年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営業収益	39,375	特別利益	926
営業原価	24,067	特別損失	204
営業総利益	15,308	税引前当期純利益	13,630
販売費及び一般管理費	4,600	法人税、住民税及び事業税	3,796
営業利益	10,708	法人税等調整額	79
営業外収益	3,596	当期純利益	9,754
営業外費用	1,396		
経常利益	12,908		

(2) 2024年3月期業績の前期比較と2025年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	2024年3月期	2023年3月期	増減	前期比
営業収益	39,375百万円	34,461百万円	4,914百万円	+ 14.3%
営業利益	10,708百万円	10,514百万円	194百万円	+ 1.8%
経常利益	12,908百万円	11,883百万円	1,025百万円	+ 8.6%
当期純利益	9,754百万円	8,519百万円	1,235百万円	+ 14.5%

※百万円未満を切り捨て

②主要な収益項目の内訳

	2024年3月期	2023年3月期	増減	前期比
不動産賃貸事業収益	23,816百万円	22,327百万円	1,489百万円	+ 6.7%
分譲事業収益	11,368百万円	8,435百万円	2,932百万円	+ 34.8%
不動産流動化事業収益	1,966百万円	1,683百万円	283百万円	+ 16.8%
仲介鑑定・その他収益	2,224百万円	2,015百万円	209百万円	+ 10.4%

※百万円未満を切り捨て

③2025年3月期の業績見通し(単体)

	2025年3月期	2024年3月期	増減	前期比
営業収益	381億円	393億円	▲ 12億円	▲ 3.2%
営業利益	85億円	107億円	▲ 21億円	▲ 20.2%
経常利益	97億円	129億円	▲ 32億円	▲ 24.8%
当期純利益	65億円	97億円	▲ 31億円	▲ 32.7%

※1億円未満を切り捨て

(3) 2024年3月期業績の補足説明

① 総括

当期の経営成績は、大型物件の一部売却により分譲事業収益が増加したことに加え、当社の主力事業であるオフィスビルの空室率が安定的に推移したことやコロナ禍の収束に伴い商業・宿泊施設の業績が回復したことで賃貸収入が増加したことにより、営業収益は前期比14.3%増の39,375百万円、経常利益は前期比8.6%増の12,908百万円、当期純利益は前期比14.5%増の9,754百万円となりました。

② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、テナント誘致活動・関係強化、賃料改定への注力及び前期・当期に竣工したビルの通期・新規稼働に加え、新型コロナウイルス感染に対する行動制限の緩和による商業・宿泊施設の売上回復に伴う賃料増加などにより、前期比1,489百万円増の23,816百万円となりました。

分譲事業につきましては、御茶ノ水ソラシティの一部持分売却に加え、レフィールオーブ町屋駅前の1棟売却やグランリビオ浜田山の完売により、前期比2,932百万円増の11,368百万円となりました。

不動産流動化事業につきましては、物件売却に伴う配当金収入の増加等により、前期比283百万円増の1,966百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業につきましては、大口仲介案件の増加が主要因となり、前期比209百万円増の2,224百万円となりました。

(4) 2025年3月期業績見通しの補足説明

2025年3月期は、営業収益381億円、営業利益85億円、経常利益97億円を見込み、営業収益は12億円の減収、経常利益は32億円の減益となる見込みです。

以上